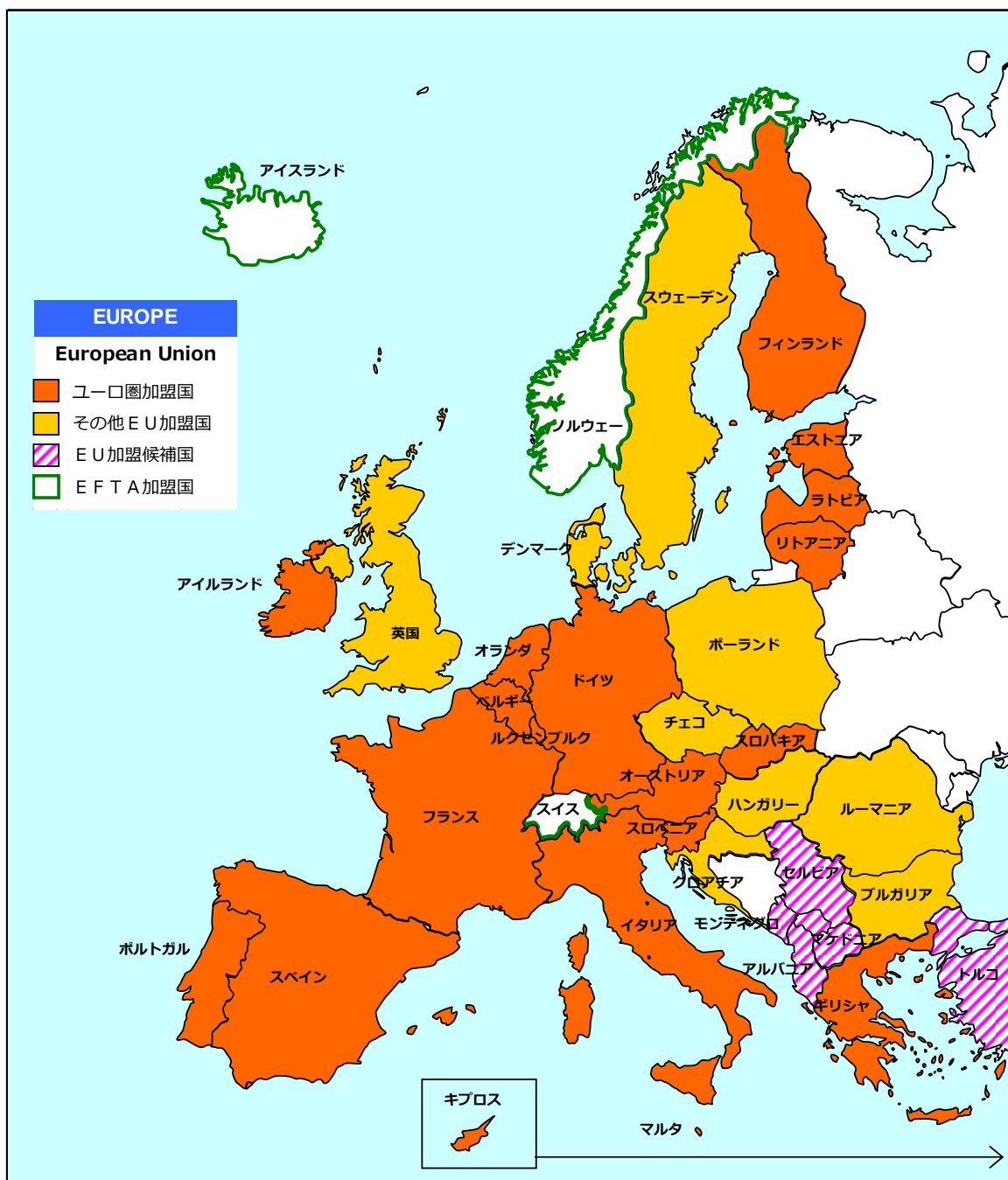


2016年3月23日 全13頁

欧州経済アップデート (2016.3)

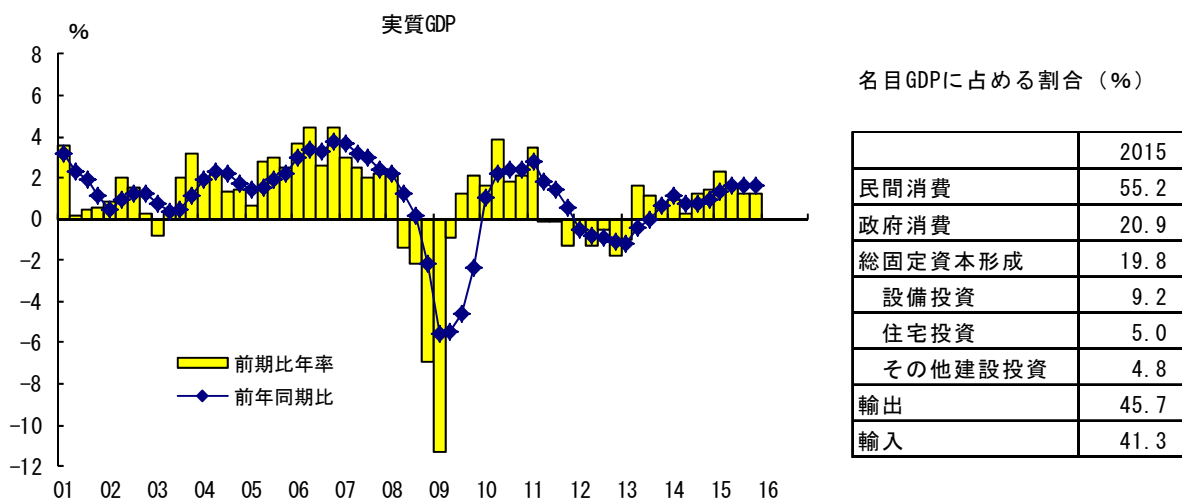
経済調査部
研究員 新居 真紀



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 15年Q4の成長率（2次推計）は前期比+0.3%とQ3から横ばいとなり、低成長ながらプラスでの推移が続いている
- 個人消費は同+0.2%と減速したものの、難民流入の影響で政府消費が同+0.6%と加速。また、総固定資本形成が同+1.3%となり、成長のけん引役となった
- 15年Q4の純輸出寄与度は同-0.3%ptと、前の期に続きマイナス寄与となった



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4
実質GDP	-0.2	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.3	0.4	0.6	0.4	0.3	0.3
個人消費	-0.3	0.2	0.3	0.2	0.0	0.2	0.4	0.5	0.5	0.3	0.5	0.2
政府消費	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.5	0.3	0.3	0.6
総固定資本形成	-1.9	0.8	0.9	0.3	0.4	-0.5	0.5	0.5	1.4	0.1	0.4	1.3
設備投資	-1.3	1.0	1.3	1.2	0.4	0.5	1.1	0.6	1.9	1.1	0.8	1.6
住宅投資	-2.3	0.6	0.4	-0.8	0.7	-1.6	0.2	0.4	1.0	-0.5	0.2	0.8
その他建設投資	-2.6	0.6	0.7	-0.4	0.3	-1.1	-0.2	0.3	1.1	-1.4	-0.2	1.4
輸出	0.3	1.3	0.5	1.1	0.8	1.0	1.6	1.2	1.4	1.7	0.2	0.2
輸入	0.2	1.1	1.3	0.5	1.2	1.1	1.5	1.2	2.1	1.0	1.2	0.9

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

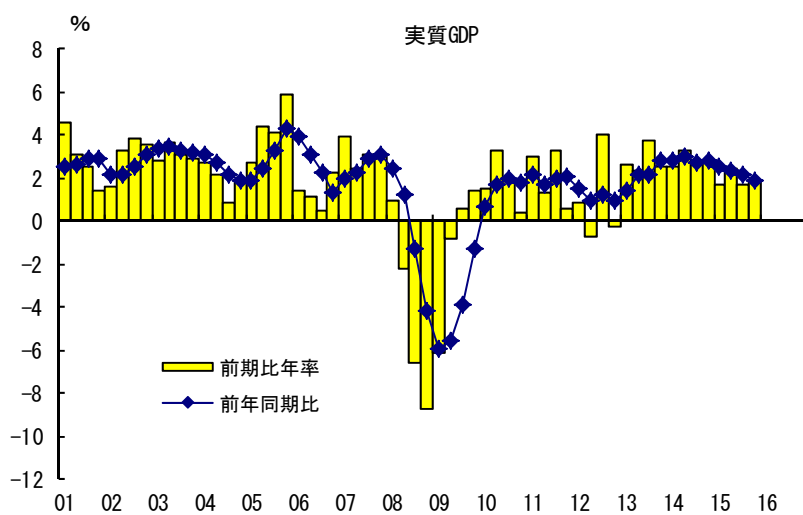
	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4
実質GDP	-0.25	0.40	0.28	0.19	0.23	0.05	0.31	0.36	0.57	0.39	0.30	0.31
個人消費	-0.14	0.10	0.16	0.10	0.01	0.09	0.23	0.30	0.25	0.17	0.28	0.12
政府消費	0.01	0.02	0.04	0.04	0.04	0.04	0.07	0.03	0.10	0.06	0.07	0.12
総固定資本形成	-0.38	0.16	0.18	0.06	0.09	-0.09	0.10	0.09	0.29	0.02	0.09	0.27
設備投資	-0.12	0.10	0.13	0.12	0.04	0.05	0.10	0.06	0.19	0.12	0.08	0.16
住宅投資	-0.12	0.03	0.02	-0.04	0.04	-0.08	0.01	0.02	0.05	-0.03	0.01	0.04
その他建設投資	-0.13	0.03	0.04	-0.02	0.01	-0.06	-0.01	0.02	0.05	-0.07	-0.01	0.07
在庫変動	0.22	0.02	0.23	-0.29	0.25	0.03	-0.20	-0.15	0.18	-0.22	0.26	0.11
輸出	0.12	0.54	0.21	0.49	0.34	0.44	0.71	0.56	0.63	0.77	0.11	0.11
輸入	-0.08	-0.42	-0.52	-0.20	-0.49	-0.45	-0.60	-0.47	-0.87	-0.41	-0.49	-0.40
純輸出	0.04	0.12	-0.31	0.28	-0.15	-0.01	0.12	0.09	-0.23	0.36	-0.38	-0.29

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

*このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 15年Q4の成長率（2次推計）は前期比+0.5%とQ3から小幅加速し、低成長ながら堅調に推移している
- 個人消費は同+0.7%と好調。総固定資本形成のうち民間住宅投資は同+2.7%と反発した一方、企業投資は同-2.1%と落ち込んだ
- 15年Q4の輸出は同-0.1%と2期連続で減少。純輸出寄与度は同-0.4%ptとQ3に続いてマイナス寄与となった



名目GDPに占める割合（%）

	2015
民間消費	65.1
政府消費	19.4
総固定資本形成	17.3
政府部門	2.7
企業部門	9.6
民間住宅投資	3.4
輸出	27.4
輸入	29.4

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4
実質GDP	0.7	0.6	0.9	0.6	0.6	0.8	0.7	0.7	0.4	0.6	0.4	0.5
個人消費	0.5	0.1	0.9	0.7	0.5	0.8	0.5	0.5	0.8	0.9	0.7	0.7
政府消費	-0.7	0.8	0.6	0.2	1.1	0.8	0.3	-0.3	0.5	1.0	0.6	0.5
総固定資本形成	-0.5	1.9	3.0	2.1	0.6	2.6	1.8	0.1	1.4	1.6	-0.1	-0.1
政府部門	0.3	-4.9	6.8	-1.0	9.4	-11.4	7.8	2.3	2.9	-2.4	-3.1	1.5
企業部門	0.5	1.8	1.8	2.6	-3.4	6.6	0.0	-0.1	2.4	0.9	1.2	-2.1
民間住宅投資	0.1	7.9	1.6	1.0	4.7	1.8	3.7	-0.5	-0.5	4.1	-2.4	2.7
輸出	1.9	3.3	-0.8	-2.9	0.9	1.2	0.4	3.8	-0.3	3.0	-0.5	-0.1
輸入	-0.7	3.3	0.1	1.8	-1.1	-0.5	2.0	2.8	3.3	-2.4	2.7	1.2

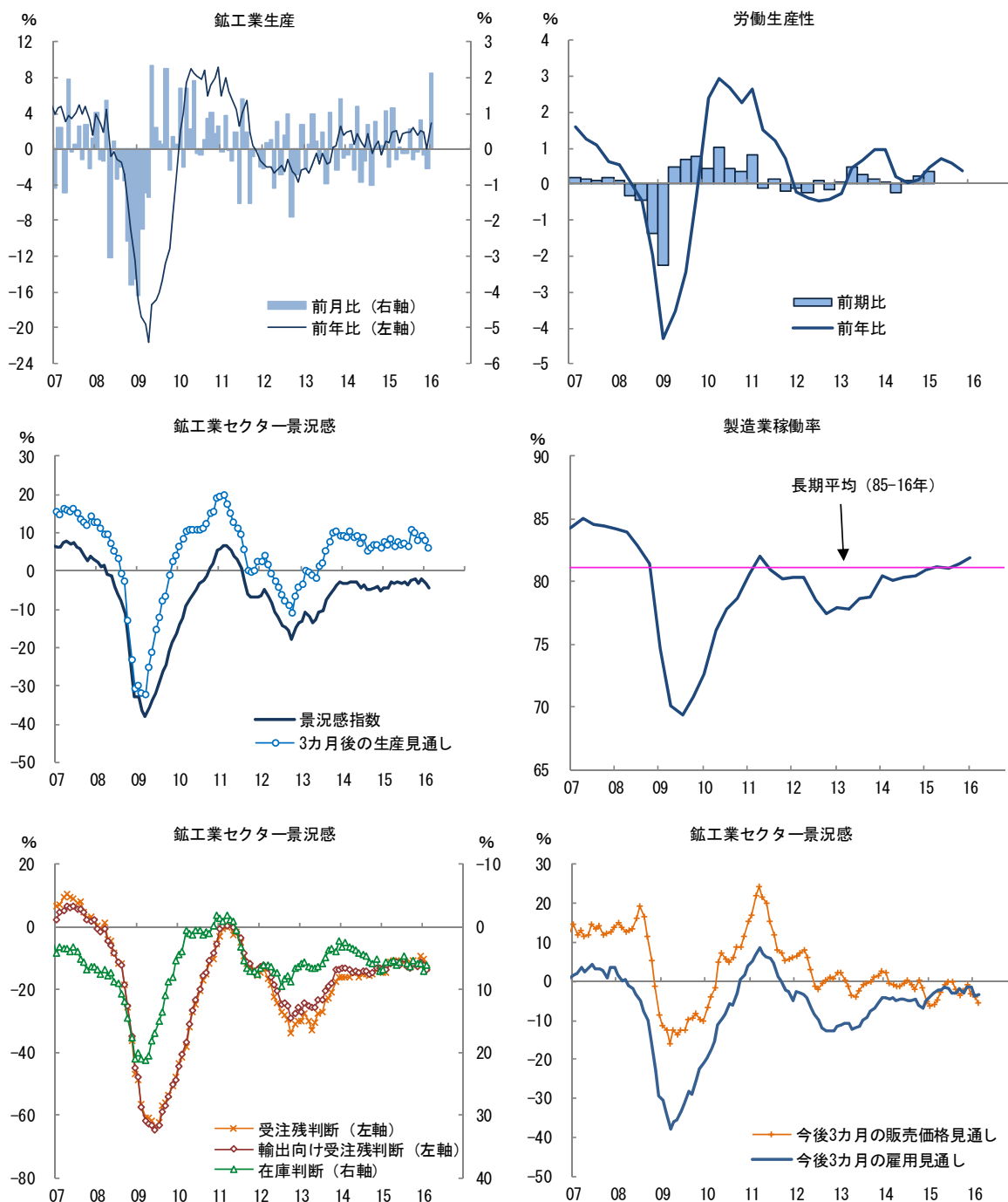
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4
実質GDP	0.66	0.59	0.92	0.64	0.64	0.80	0.66	0.67	0.42	0.60	0.42	0.48
個人消費	0.30	0.05	0.55	0.46	0.34	0.50	0.33	0.34	0.54	0.60	0.42	0.43
政府消費	-0.14	0.17	0.12	0.05	0.23	0.16	0.05	-0.07	0.09	0.20	0.11	0.10
総固定資本形成	-0.08	0.30	0.49	0.35	0.10	0.44	0.31	0.02	0.23	0.27	-0.02	-0.01
政府部門	0.01	-0.13	0.17	-0.03	0.24	-0.32	0.19	0.06	0.08	-0.07	-0.08	0.04
企業部門	0.04	0.16	0.17	0.25	-0.32	0.60	0.00	-0.01	0.23	0.09	0.12	-0.20
民間住宅投資	0.00	0.24	0.05	0.03	0.15	0.06	0.12	-0.02	-0.02	0.14	-0.09	0.09
在庫変動	-1.03	0.15	0.05	1.22	-0.70	-0.81	0.51	0.22	0.76	-2.15	0.90	0.31
輸出	0.56	0.97	-0.24	-0.86	0.27	0.35	0.12	1.09	-0.08	0.88	-0.14	-0.04
輸入	0.22	-1.05	-0.04	-0.57	0.37	0.16	-0.64	-0.91	-1.09	0.81	-0.89	-0.39
純輸出	0.79	-0.08	-0.28	-1.43	0.64	0.51	-0.52	0.18	-1.16	1.69	-1.03	-0.43

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 1月の鉱工業生産は前月比+2.1%と09年9月以来、前年比も+2.8%と11年8月以来の伸びとなった
- 2月の鉱工業セクター景況感は85年以降の長期平均を上回っているものの、前月に続いて悪化。構成項目のうち、受注残判断と生産見通しが悪化した
- 鉱工業セクター景況感の販売価格見通しが15年12月以降3カ月連続で落ち込み、85年以降の長期平均を大幅に下回っている

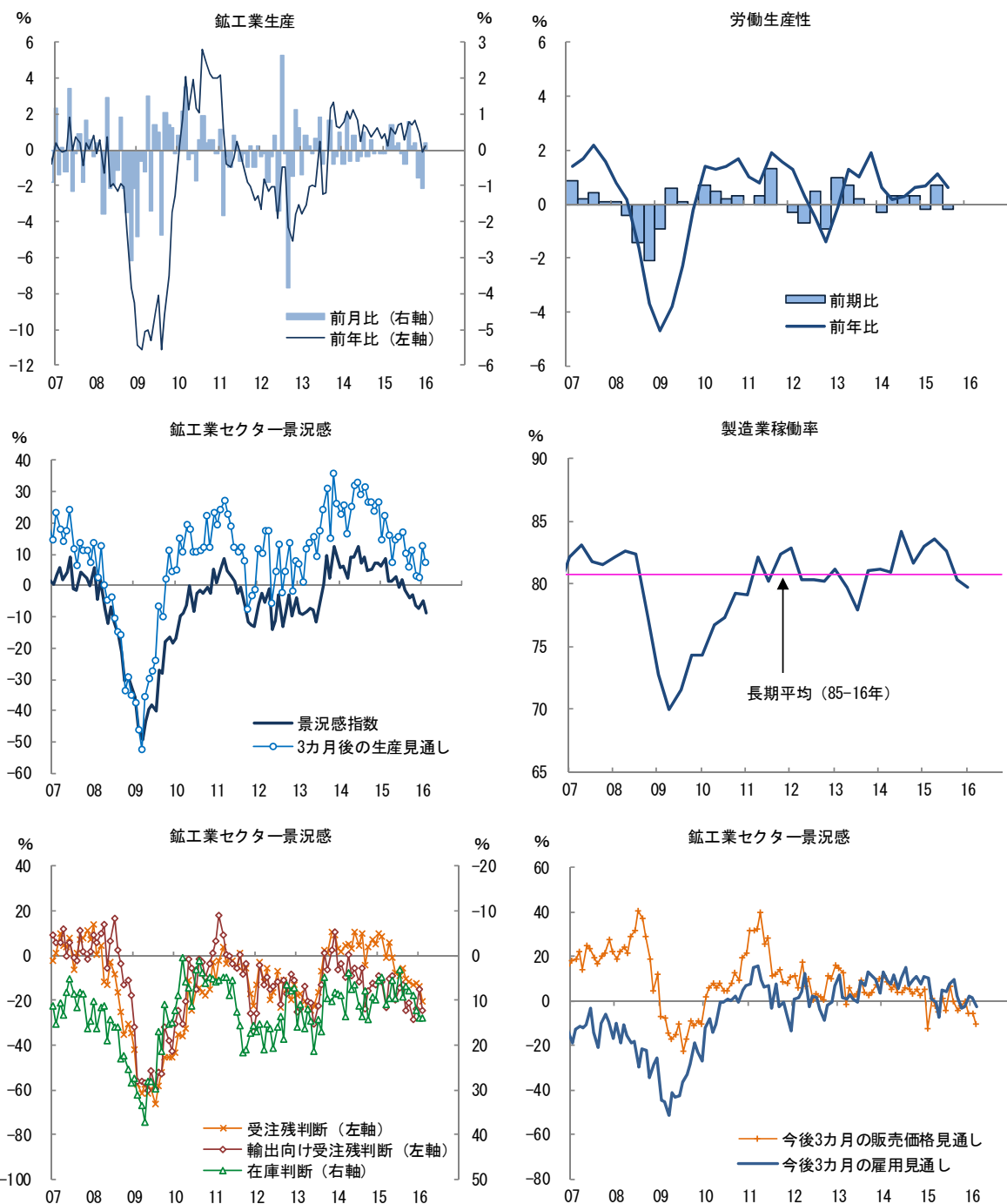


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 1月の鉱工業生産は前月比+0.2%と3カ月ぶりにプラスに浮上した
- しかし、鉱工業セクター景況感は悪化傾向が続いており、2月は13年6月以来の水準まで落ち込んだ。構成項目の中で受注残判断が目立って悪化した
- 2月の鉱工業セクターの販売価格見通しは悪化し、85年以降の長期平均を大きく下回っている

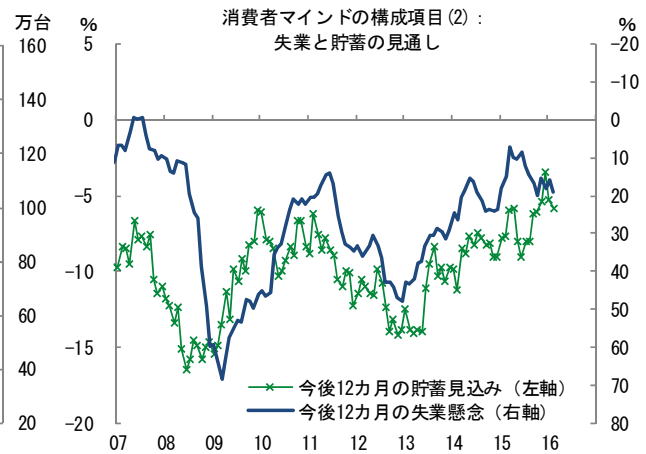
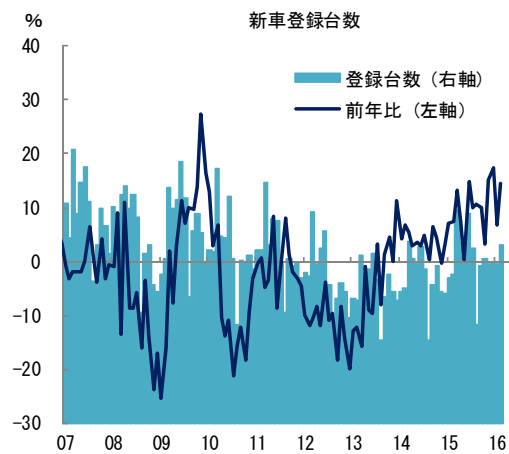
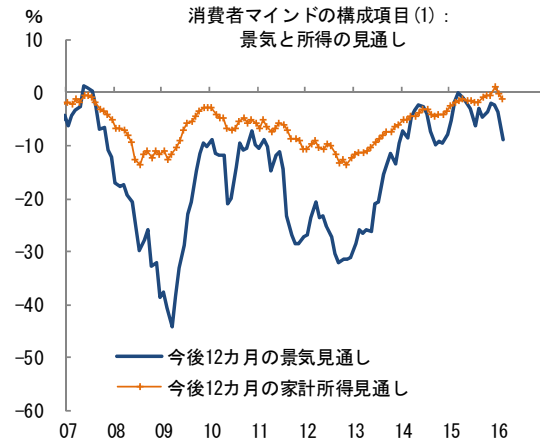
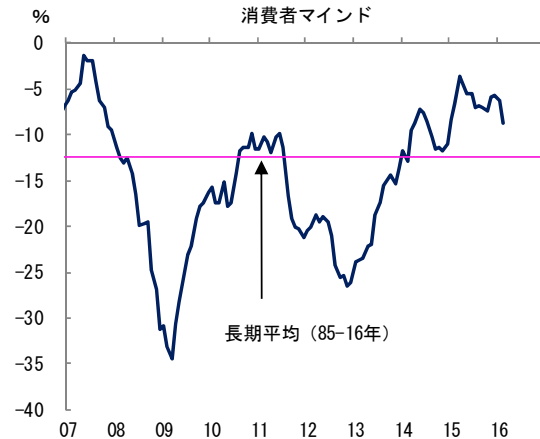
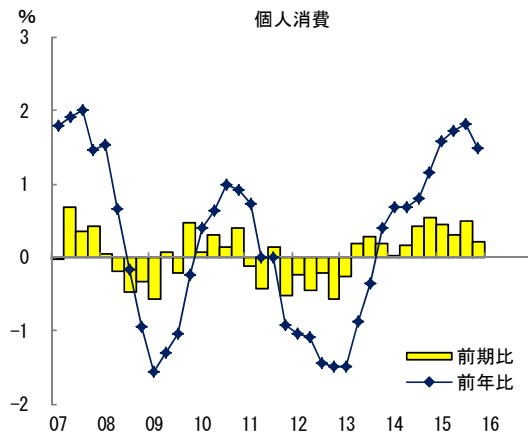


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 3月の消費者マインドは85年以降の長期平均を上回る水準を維持しているものの、3カ月連続で悪化
- 1月の小売売上高は前年比+2.0%と前月から小幅に鈍化した
- 2月の新車登録台数は前年比+14.6%と2カ月ぶりに2桁の伸びとなった

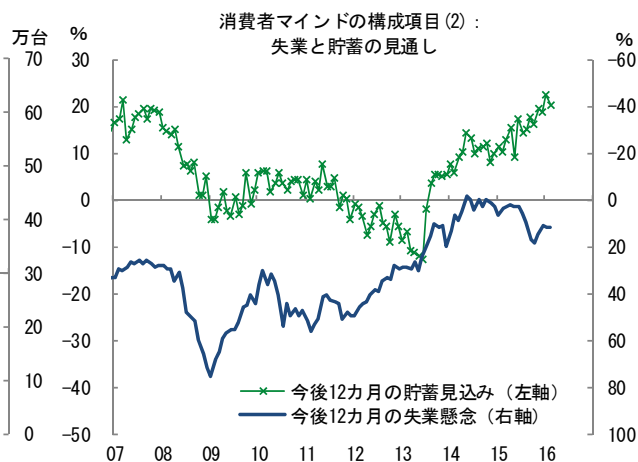
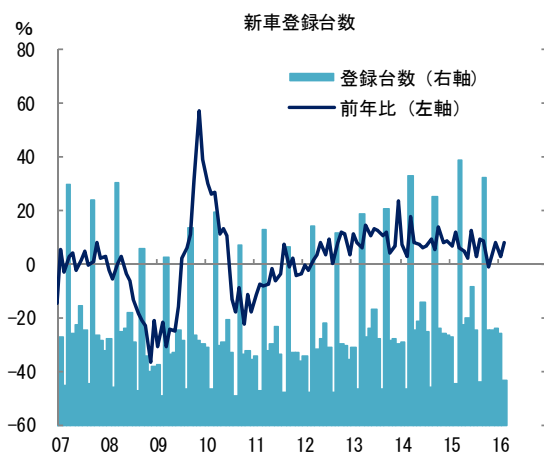
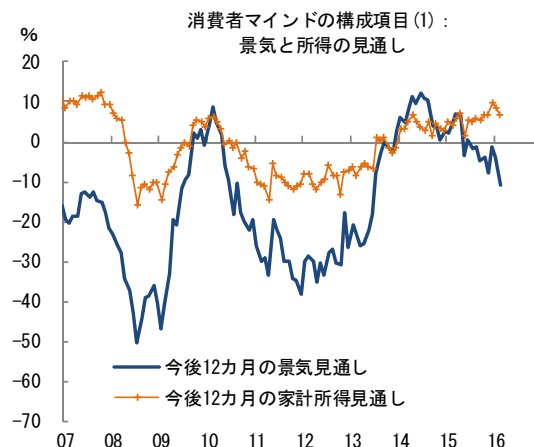
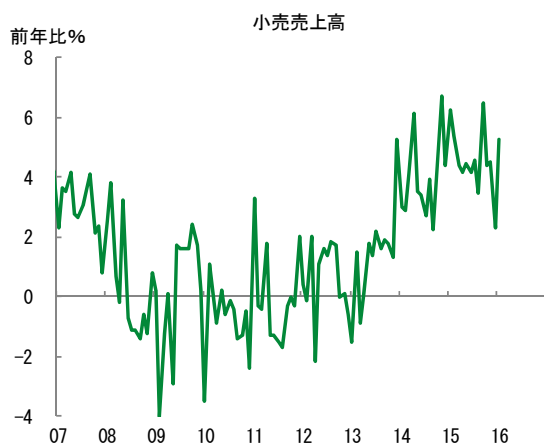
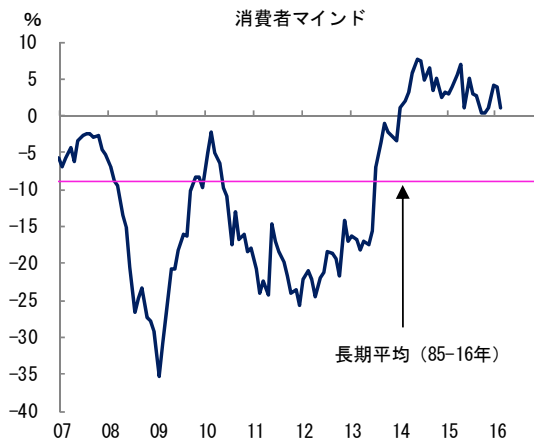
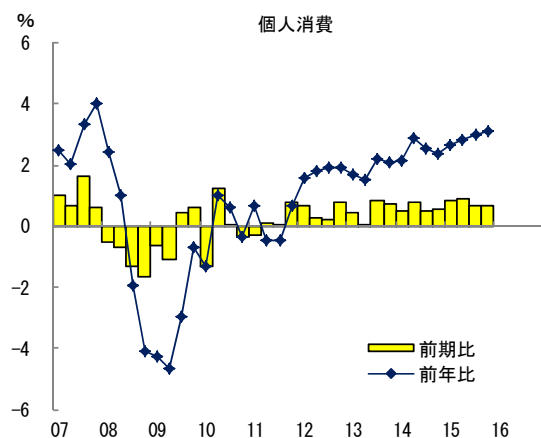


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 2月の消費者マインドは小幅ながら2カ月連続で悪化した
- 15年Q4の個人消費は前年比+3.1%と4期連続で緩やかに加速、前期比も+0.7%と前の期からわずかに加速した
- 2月の新車登録台数は前年比+8.4%と前月の伸びから拡大した

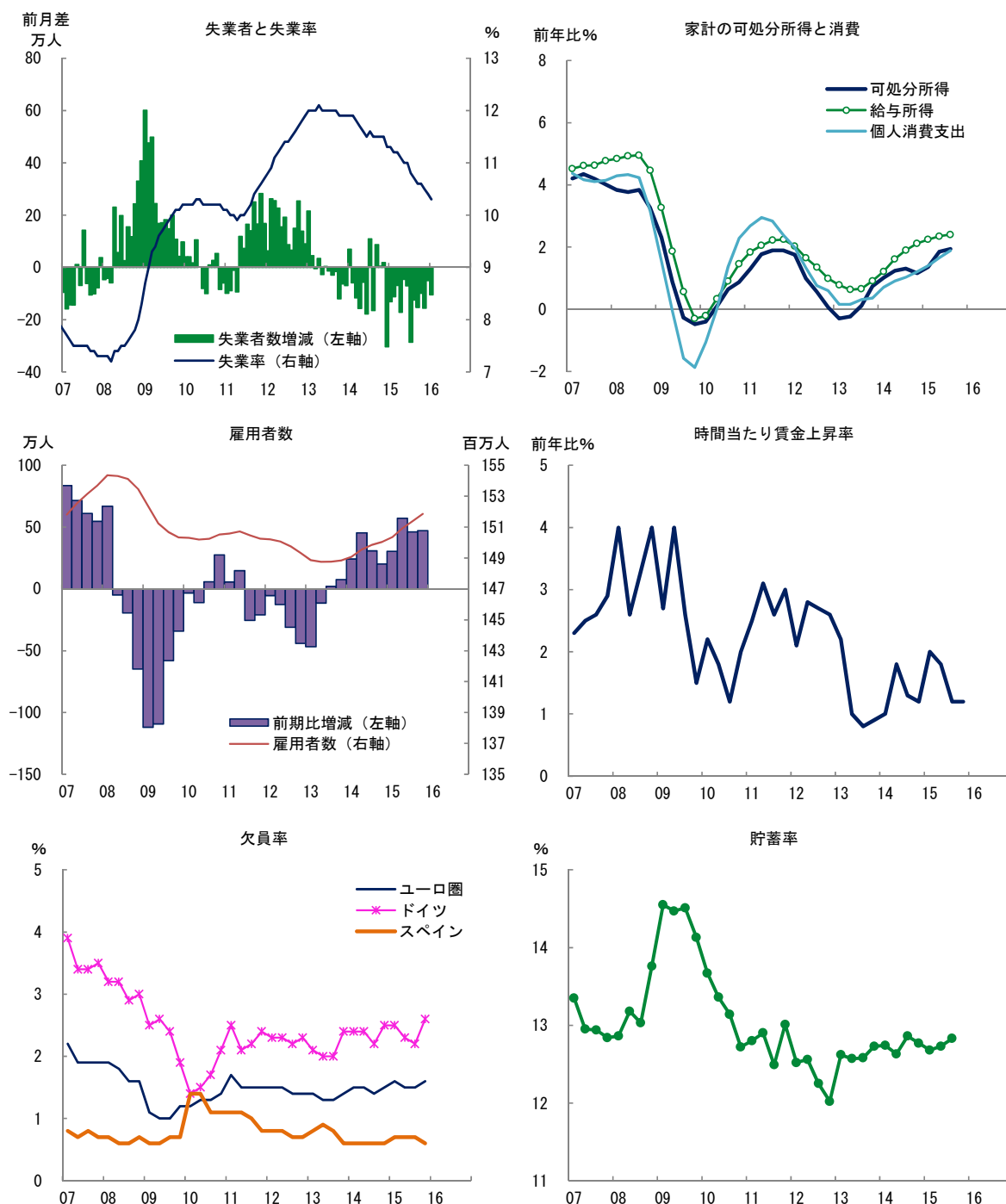


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 1月の失業者数は前月から10.5万人減少し、失業率は10.3%と一段と低下した
- 15年Q4の雇用者数は47.1万人増の1億5186万人となり、09年Q1以来の規模となった
- 15年Q4の時間当たり賃金上昇率は前年比+1.2%とQ3から伸び悩み。欠員率は1.6%と小幅に上昇した

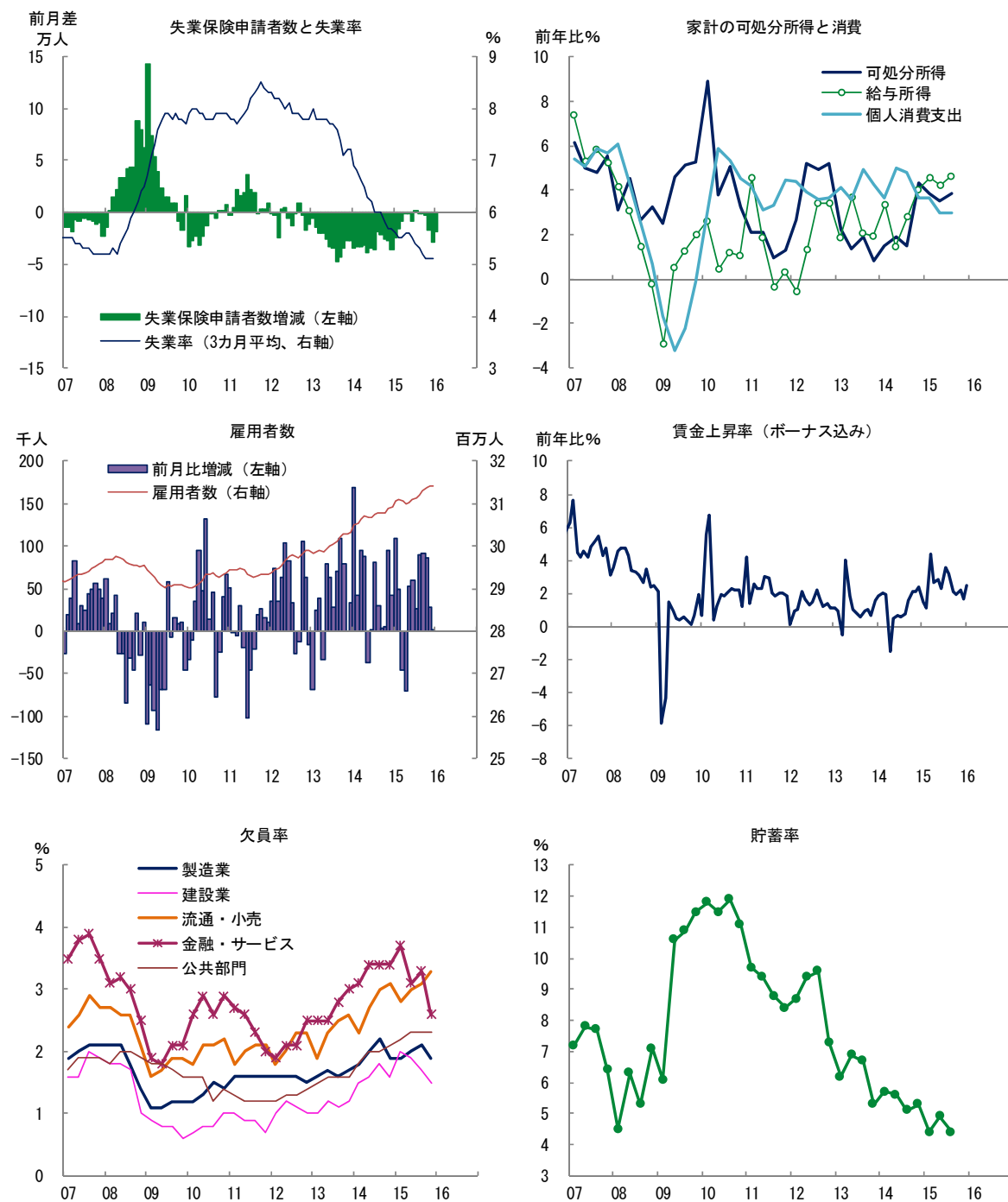


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 15年11月-16年1月の失業率の平均は5.1%と、3カ月連続で05年年末以来の低水準となった
- また、2月の失業保険申請者数は6カ月連続で減少している
- 1月の賃金上昇率（ボーナス込み）は前年比+2.5%と前月から加速した

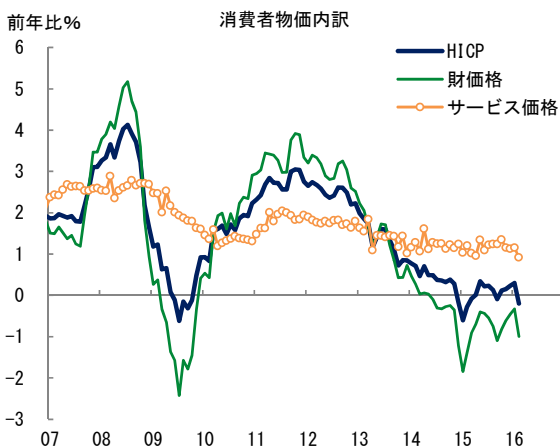
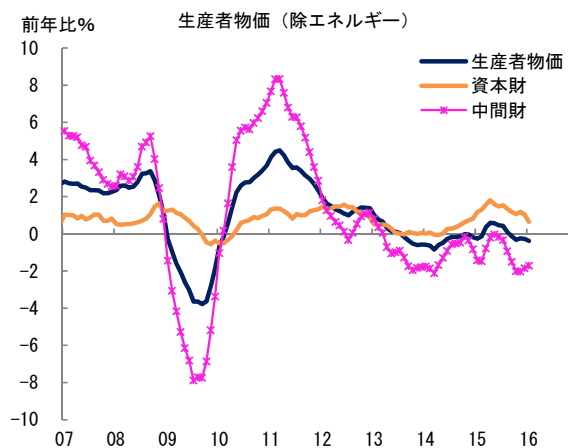


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

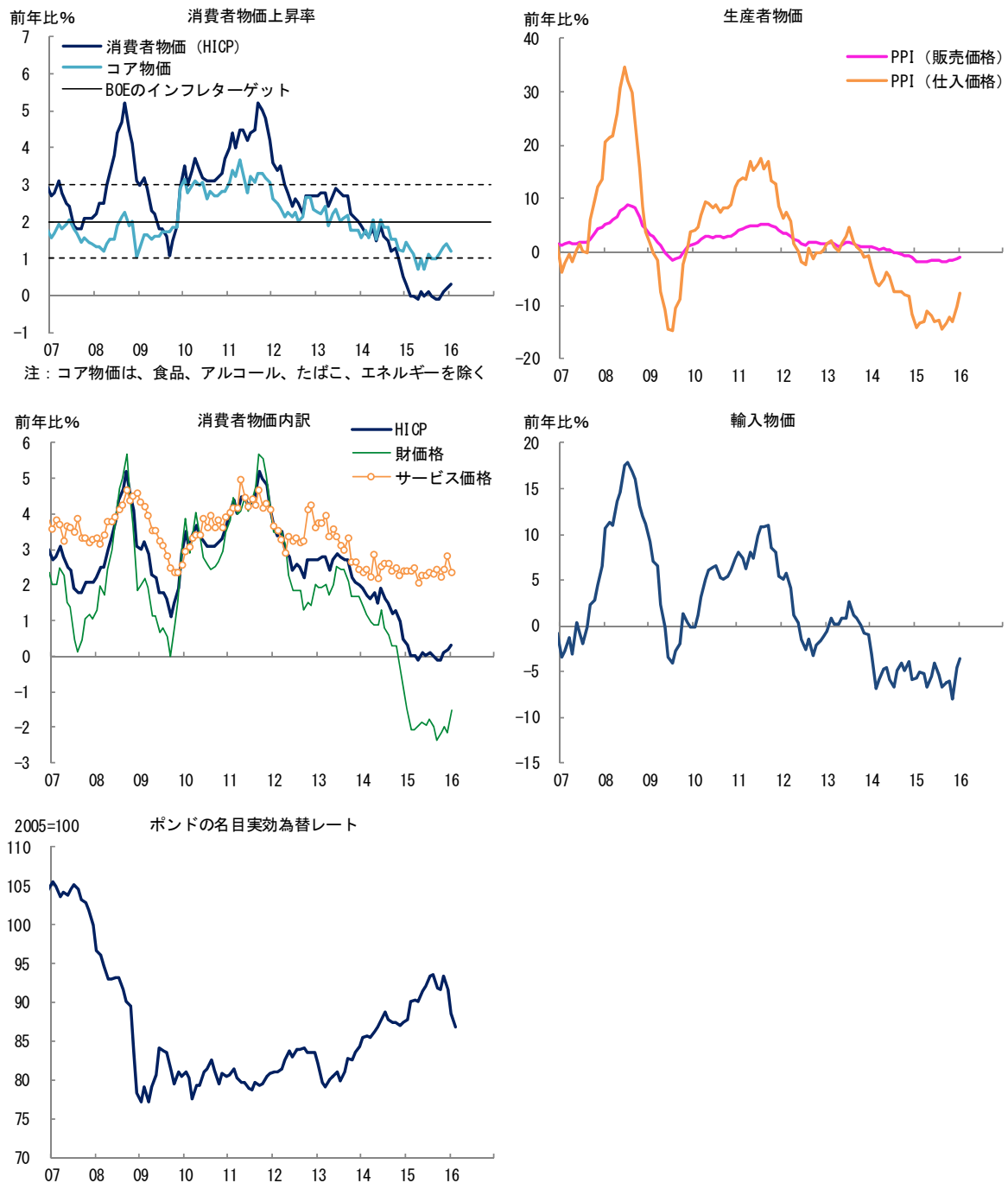
- 2月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比 -0.2% と5カ月ぶりにマイナス圏入り。エネルギー価格が同 -8.0% と再び大きく下落したことなどが背景にある
- 1月の生産者物価は同 -0.4% と前月に続いて下落幅が拡大。中間財価格の下落が続き、資本財価格も伸びが鈍化した
- 原油価格（北海ブレント）は下落基調にある中で、2月は1バレルあたり32.2ドルと前月からわずかに上昇した



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

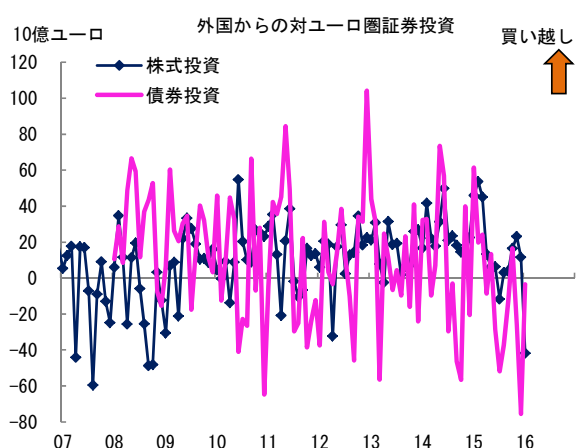
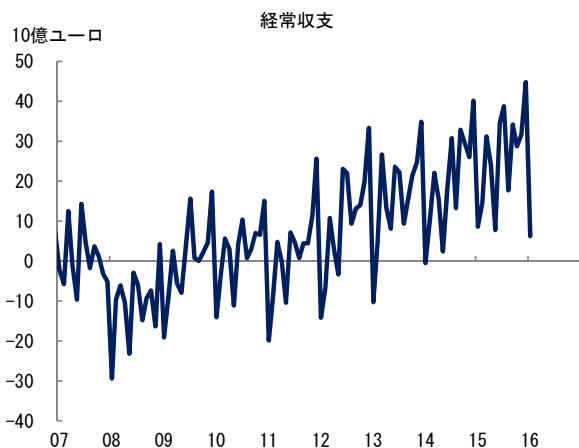
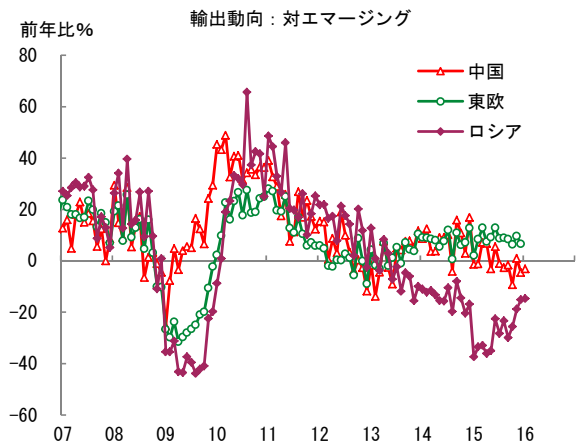
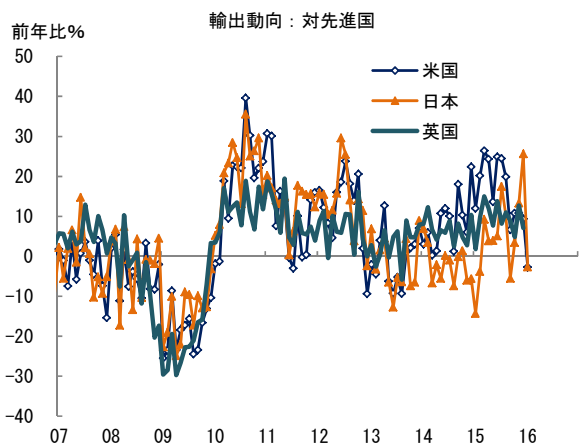
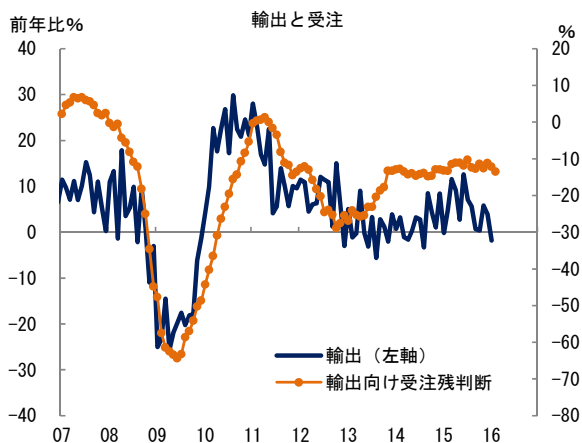
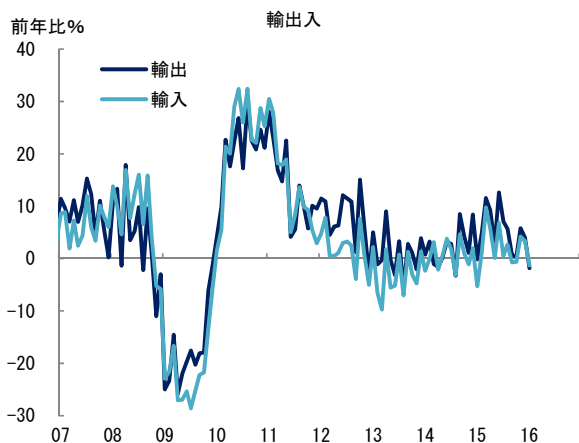
- 2月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.3%となり、前月から横ばい。コア物価上昇率は同+1.1%と2カ月連続で小幅に減速した
- 2月のポンドの名目実効為替レートは、国民投票が6月に実施されることが決まり一段と下がった
- 1月の輸入物価上昇率は前年比-3.6%となり、2カ月続いて下落幅が縮小した



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

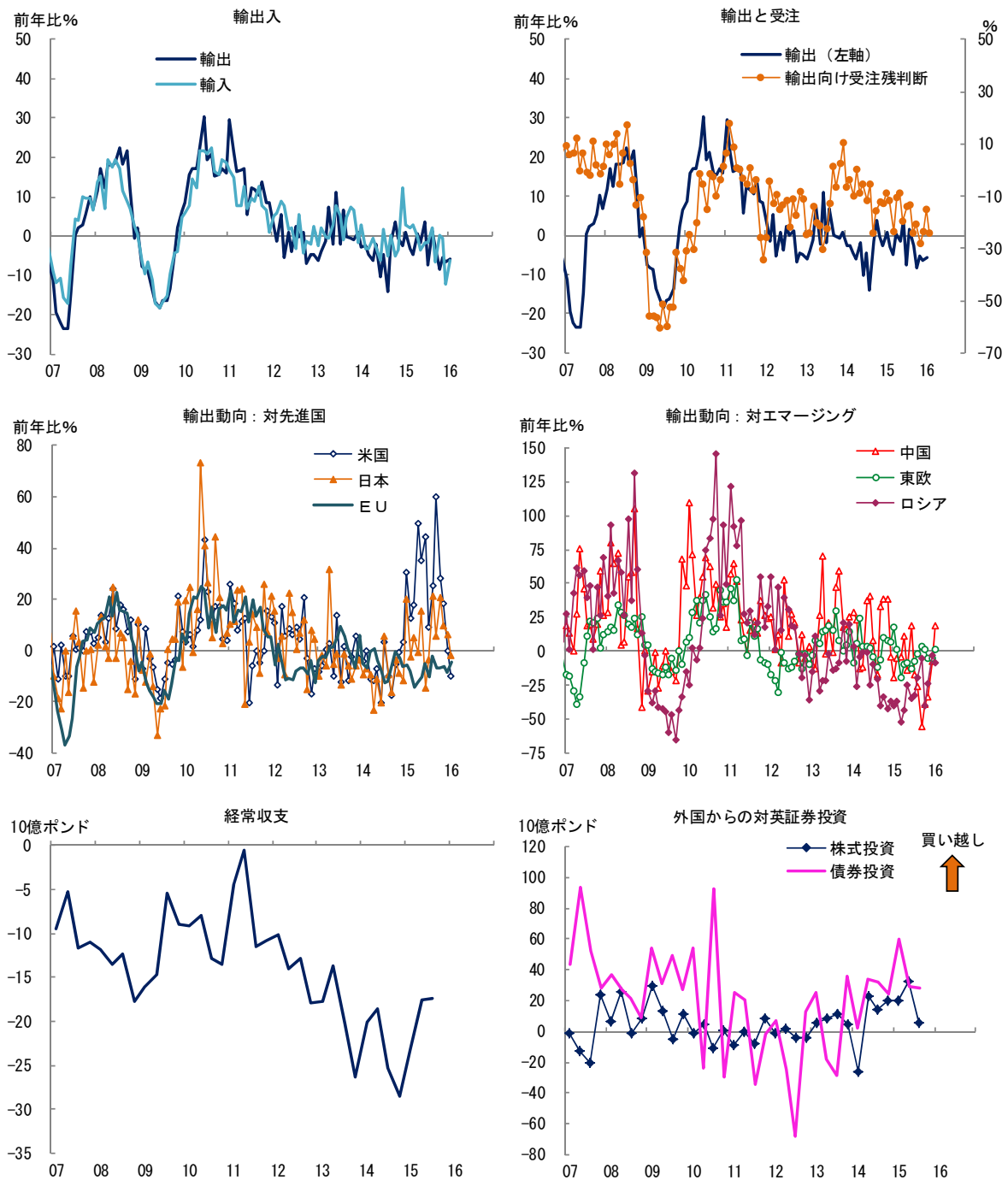
- 1月の輸出は前年比-1.8%、輸入も同-1.3%と共に減少に転じた
- 国別に輸出の伸びをみると、米国向けが13年8月以来の減少となり、中国向けも2カ月連続で前年割れとなった。一方、英国、東欧向けは堅調な推移が続いている
- 1月の外国人投資家によるユーロ圏への証券投資は、株式投資が08年10月以来の大幅な売り越し額となった。一方、債券投資の売り越し額は前月から大きく縮小した



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 1月の輸出は前年比-5.8%と5カ月連続で前年割れとなった。米国向けの減少幅が拡大した一方、EU向けの減少幅は縮小、中国向けが7カ月ぶりにプラスに転じた
- 1月の輸入は前年比-6.3%と前月の急落から大きく持ち直した
- 輸出向け受注残判断は悪化基調が続いている



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成